

## 設立20年

## 地域とともに歩む協同組合

私達、神奈川県東部建設協同組合は昭和六〇年七月に創立し、今年で二〇年になりました。

昭和四十八年の第一次オイルショックとその不況は、中小業者に深刻な事態を引き起こしました。

そのような中で業者同士が団結して、自ら資金を出資しあつて事業を起こしました。最初の八年間は任意組合でしたが、受注も増え事業として見通しが立つてきたので平成五年に法人化する事となりました。

## 「友の会」を発足

当組合事業の特徴の一つとして、組合で施工したお客様を中心に組織した『KCC友の会』の存在があります。

お客様のそれぞれのご要望にお応えしたいと発足し、さまざま会員特典をご用意いたしました。

▼定期的に住宅健康診断を受けることができます。

- ▼KCCが催す各行事(住宅教室・親睦旅行・感謝デーなど)に参加できます。
- ▼仮住まい住宅をご利用いただけます。
- ▼毎年、大型カレンダーを進呈
- ▼KCCが発行する「友の会ニュース」をお届けします。

## 優れた施工ノウハウ

当組合では、鉄筋や鉄骨などを含め、様々な建物を手がけていますが、やはり主流は木造住宅です。そして、川崎や横浜地域の特徵として、マンションや団地が多い事もあり、集合住宅のリフォームも少なくありません。

安い輸入材に対しては良質な国産材、化学物質を発散させる建材に対しては天然素材といったように、住む人の健康を考えて家づくりを進めてきました。耐震性に優れたTIP工法も以前から採用しています。

天然素材や国産材を使った家づくりは「割高になるのでは？」との声もあります。

ですが、私共は「住む人の健康や安全、家の耐久性をトータルで考えれば少しも高くない」と考えます。

## 自前の協同組合会館

当組合では平成四年に待望の協同組合会館を建設しました。

会館は、単に組合の事務所というだけでなく、二階は地域の人たちが使える多目的ホール、三階には建て替えなどのお客様がご利用いただける仮住まいの部屋を作りました。



私達の組合も今年で結成二〇年、節目の年です。いままで以上に地域に密着した事業活動展開をしようと組合員・職員一同心を新たにしています。